

第 26 号

発行者

社団法人

日本プールアメニティ施設協会

〒160-0022 新宿区新宿5-17-2

URL <http://www.jpaa.com/>E-mail jpaa@sepia.ocn.ne.jp

TEL 03-3209-0447

FAX 03-3209-6076

水泳プールに関連する原虫、感染症等について

協会理事 笹野 英雄

1. クリプトスボリジウムについて
クリプトスボリジウムはジアルジアとともに水系感染を起こす代表的な腸管系原生動物（原虫）である。

①アメリカにおける水系感染症の発生状況

ジアルジアによる水系感染症については今までにも数多くの報告があるが、クリプトスボリジウムが感染症の原因微生物として知られるようになったのは、1980年になってからで、1984年にアメリカテキサス州、1987年にジョージア州で起きた2例の水系疾患の報告からである。その後、1992年に1万5千人、1993年に40万3千人の感染者が発生、100人余りの死者を出している。

現在も水系疾患の約半数以上は病因が不明とされており、クリプトスボリジウムがその中のいくつかの原因となっていると考えられている。

②日本における水系感染症の発生状況

1994年8～9月に神奈川県平塚市の雑居ビルで約800人が感染した。原因は地下式受水槽に隣接の汚水槽水が混入したことによる飲料水汚染である。

患者の便や飲料水からクリプトスボリジウムが検出されている。

この事件は、ビルの上下水道施設に欠陥があり、受水槽、雑排水槽、汚水槽および湧水槽が隣接して設置されていたこと、さらに、排水ポンプが故障していてクリプトスボリジウムを含んだ雑排水が汚水受水槽に混入していたことが確認されている。

この事件はあらためて、ビル施設を含めた貯水槽の管理の重要性を示唆したわけである。

1996年8月、埼玉県越生町で町営水道を介して1,000人以上に及ぶ感染事故が発生している。水道源水へのクリプトスボリジウムの混入が原因であるが、由来は不明である。

③クリプトスボリジウムの性状と感染症及び感染経路

(1) クリプトスボリジウムは直径4～8ミクロン（1ミクロン=1/1000ミリ）の原虫で、ほ乳類の腸管に寄生している。

(2) 腸内で有性生殖、無性生殖を行い、無性生殖のとき腸内増殖し、有性生殖のとき感染型のオーシスト（原虫が作り出す胞子のようなもので、囊胞体と呼ばれている）を作る。

(3) 人に感染すると腸内で増殖し、激しい水様性下痢、腹痛、吐き気、嘔吐を起こす。

(4) 潜伏期間は、3～6日程度である。

(5) オーシストは糞便とともに排出されて水系に移行し、野菜、飲料水、手指を介して経口的に人、家畜、野生動物に感染する。

(6) 通常、発病後のオーシストの排出は、3～30日、平均12日間続き、自然に治癒するが、免疫力が低下している場合は致命的になることがある。

④消毒薬、熱に対する抵抗性

(1) オーシストには無色で平滑な厚い壁があり、消毒剤等に対して強い耐性がある。

(2) 4°C、18時間の条件で、1%ホルマリン、2.5%、クレゾール、5%アンモニア水はオーシストを不活化する。しかし、3%次亜塩素酸ナトリウムには抵抗性を示し、4%ヨードホール、10%塩化ベンザルコニウム、0.02M水酸化ナトリウムでは不活化されない。

(3) 加熱、冷凍、乾燥には弱く、沸騰水では1分以上で死滅する。60°C以上か-20°C以下で30分、常温で1～4日間の乾燥により感染力を失う。

(5) 常時浄水の濁度を0.1以下にすると、限外ろ過膜処理で除去が可能である。

2. レジオネラ属菌について

①レジオネラ属菌の登場

1976年にアメリカのフィラデルフィアのホテルで開催された米国在郷軍人会で、参加者を中心に多数の急性肺炎患者が発生し、29人が死亡する事件が発生した。

レジオネラ属菌は、その時の原因菌として発見された当時の新種の細菌で、レジオネラニューモフィラ（*Legionella pneumophila*）と命名された。その後、この菌は菌体抗

原の特異性によって11の血清群に分類され、*Legionella pneumophila* の他に23菌種が命名されている。

②レジオネラ属菌感染症の症状

レジオネラ属菌感染症には、肺炎型と非肺炎型の2タイプがある。肺炎型の症状は、通常2～8日の潜伏期を経て全身倦怠感、筋肉痛、軽度の頭痛が現れ、悪寒を伴う39～41°Cの高熱を生じ、咳を伴う急性気管支炎、呼吸困難、腹痛、下痢などの症状が見られる。

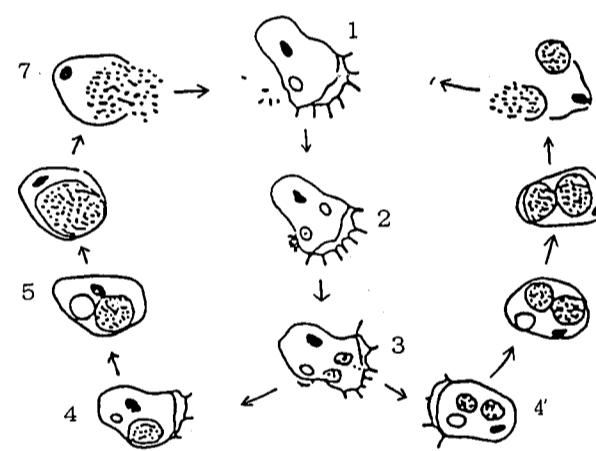
肺炎型は適切な処置をとらないと、その致命率は15～25%に及ぶといわれている。一方の非肺炎型はポンティック熱と呼ばれ、肺炎型と同様な倦怠感、筋肉痛、発熱、悪寒、頭痛などの症状が見られるが、肺炎型と異なり2～5日で軽快し、今までに死亡の報告は認められていない。

③レジオネラ属菌の所在と感染経路

レジオネラ属菌は土壤や地下水、河川水など広く自然界に生息している。これが土塵等と一緒に風で運ばれて、ビルの空調用冷却塔水に混入して増殖し、これが空気取入口から室内に侵入し感染する原因となっている。わが国の各機関の調査報告では50～60%の冷却塔水からこの菌が検出されている。最近では循環式給湯器や24時間風呂などからも本菌が検出され、病院では入院中の乳児が感染し死亡する事故が起こっている。

その他、本菌の拡散が考えられるものとしては修景用の噴水や滝があり、レジオネラ属菌の感染源となる可能性がある。ビルなどの室内でレジオネラ属菌の増殖、飛散の恐れのある水施設としては、加湿器、蓄熱槽、循環式給湯器なども考えられる。

AcanthamoebaへのLegionellaの感染



(Rowbotham TJ20) Legmellae and Amoebae, Amer. Soc. Microbiol., Washington D. C. 1984より改変して引用)

1: Amoeba has many pseudopods (アカントボディ) extending. The nucleus and phagosomes are visible, and Legionella is seen outside the cell.

2: Legionella is gathered near amoebic phagosomes.

3: Legionella is taken in by the amoeba.

4-6: Two amoebae merge, and internal bacteria multiply, filling the amoebae. The nucleus is compressed.

7: The cell bursts and releases new amoebae near the original amoeba.

4-6: Two amoebae merge, and internal bacteria multiply, filling the amoebae. The nucleus is compressed.

7: The cell bursts and releases new amoebae near the original amoeba.

★プール施設のシャワー飛沫からの感染予防（シャワー水には、残留塩素の存在している水道水を使用すること）

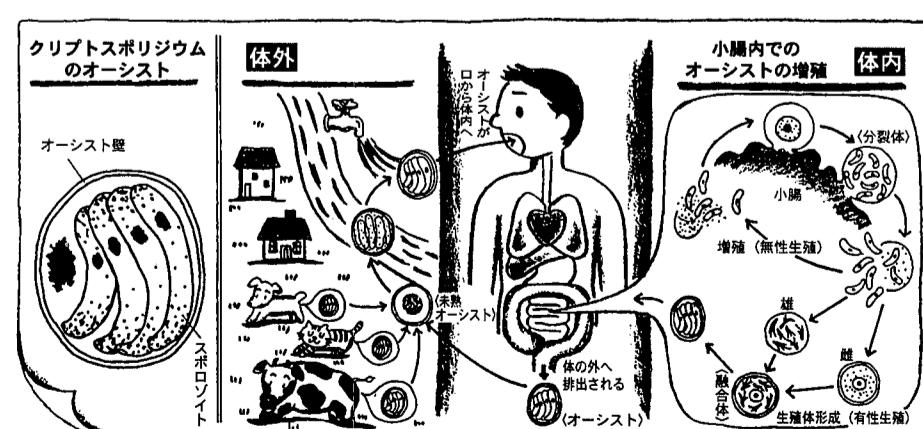
*循環式給湯設備：循環式給湯設備の給湯温度は、末端で55°C以上を保持する。

（レジオネラ属菌は55°C以上で死滅

することが確認されている）

④レジオネラ属菌と宿主の関連

レジオネラ属菌は、藻類の増殖している水槽内等では、これらに寄生して生存、増殖する可能性が強く、このようのことからも水槽内の清掃の重要性が強調される。



病原性大腸菌による感染症

腸管出血性大腸菌O157について

1. 病原性大腸菌の概要

大腸菌は、人や動物の腸管に常在している細菌で、ときに胆嚢や膀胱に侵入して胆嚢炎や膀胱炎を起こすことはあっても一般的には病原性を持たないのが普通である。しかし、1940年代頃から或種の大腸菌が人に腸炎を起こすことが判明し、腸内常在菌である一般の大腸菌と区別されて病原性大腸菌と名付けられた。当初は主として乳幼児に腸炎が発生していたが、最近は免疫力の低下した成人にも腸炎を起こすことが知られるようになった。

2. 腸管病原性大腸菌（下痢原性大腸菌）について

病原性大腸菌は、病気を起こすメカニズムの相違から、現在、腸管出血性大腸菌、毒素原性大腸菌、組織侵入性大腸菌、病原血清型大腸菌、腸管付着性大腸菌の5種類が知られている。

2-1-1. 腸管出血性大腸菌(O157:H7)の名前の由来

腸管出血性大腸菌はペロ毒素を產生するところから、ペロ毒素產生性大腸菌とも呼ばれ、O157:H7、O157:H-、O26:H11、O111:H-、O128:H-、O145:H-など100種類以上の血清型がある。この中では、O157:H7による食中毒が最も多く発生している。

O157は菌体に鞭毛を有しているが、代表的な血清型O-157:H-7は、菌の表面にあるO抗原という蛋白質が173種類あるうち、157番目に発見されたものであり、H抗原は鞭毛の蛋白質が56種類あるうち7番目に発見されたことから付いた名前である。

2-1-2. 毒性発生のメカニズム

腸管出血性大腸菌の產生するペロ毒素は、免疫学的、遺伝学的相違からVT1とVT2の2種類に分類することができる。VT1は赤痢菌の產生する志賀毒素と同じ構造の毒素で、VT2は、VT1と生物学的性状は類似しているが免疫学的性状や物理化学的性状は全く異なる毒素である。

ペロ毒素(VT)が細胞を殺すメカニズムは、まずBサブユニット(毒素を細胞に結合させる作用を担当する)で標的細胞表面にある受容体を通して細胞と結合する。結合の結果、細胞は毒素を細胞内に取り込み、その毒素を毒作用を担当するAサブユニットが細胞質に運び、細胞内でタンパク質を合成しているリポゾーム上のRNA(核酸)に作用してアデニン1個を切り離してしまうため、生命維持に必要なタンパク質

合成が阻害され、細胞を殺すと考えられている。この現象が腸管上皮細胞で起これば、上皮細胞が死滅して壊れ、腸管から出血して血便が起こると推察されている。

2-1-3. O157の感染力と症状
この菌は1982年に米国で発生した食中毒事件で注目されるようになつたもので、現在指定されている食中毒原因菌としては最も新しい菌の1つである。

腸炎ビブリオやサルモネラ菌等の食中毒細菌は、体内に100万個程度入らないと発症しないが、O157はわずか数100個程度の非常に少ない菌量で感染するといわれ、既知の食中毒菌の中では最も感染菌量の少ないものである。そのため赤痢菌などに感染力が強く、食品や飲料水による感染以外にも家庭等で人から人への二次感染の可能性がある。

④ O157:H7感染による症状と潜伏期間

無症状のものから軽度の下痢、激しい腹痛、多頻度の水便、激しい血便とともに溶血性尿毒症症候群などの合併症を起こし、死亡するものまである。

この感染症は、潜伏期間が4~9日と比較的長いのが特徴で、そのため感染原因の究明を困難にしていることが多い。健康な成人なら4~8日で自然に治癒するが、乳幼児、小学生、高齢者や病人等、抵抗力の低下している人が感染すると、重症に陥り生命にかかわることがある。O157感染による有症状者の約6~7%は、下痢、腹痛などの初発症状が出てから数日から2週間後に溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症等の重症合併症を起こすことが多い。

2-1-4. O157の性状

ヒト腸管内の常在大腸菌と同じであるが、特徴は前述のようにペロ毒素を产生することである。O157は熱に弱く、75°Cで1分間加熱すれば死滅するが、低温には強く、冷蔵庫内でも生き残るものがあるといわれている。



写真 O157

写真提供：東京都立衛生研究所

プールに関する水質については、水道水の残留塩素濃度やプール水の残留塩素が基準で維持されれば、消毒は心配ない。

しかし、O157は胃酸に強く、約

10%が殺菌されずに腸にまで達し、しかも便として排泄されづらいといわれている。ちなみに、コレラ菌等は胃の中で胃酸(pH1.5~2)により1万分の1にまで減少してしまう。

表1 腸管病原性大腸菌の種類¹⁾

起炎菌	潜伏時間	感染様式、発病機序、毒素	主要臨床症状
毒素原性大腸菌 (ETEC)	約4~24時間	非侵襲型、コレラ菌エンテロトキシン様毒素(LT:易熱性毒素)によるadenylcyclase活性化エンテロトキシン(ST:耐熱性毒素)	水様下痢、腹痛(いわゆる旅行者下痢)、嘔吐
腸管病原性大腸菌 (EPEC)	約12~24時間	侵襲型、EAFプラスミド支配の菌の外膜蛋白が腸管壁へ吸着	嘔氣、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
腸管組織侵入性大腸菌 (EIEC)	約8~24時間	侵襲型、大腸の粘膜上皮細胞内への菌の侵入・増殖	粘血便、濃粘血便、下痢、腹痛、発熱(赤痢様症状)
腸管付着性大腸菌 (EAEC)		(大腸の粘膜上皮細胞内への菌の吸着?)	下痢(特に小児)
腸管出血性大腸菌 (EHEC) 又は、ペロ毒素產生性大腸菌 (VTEC)	約4~9日	侵襲型、ペロ毒素(VT1、VT2、VT2v)	鮮血便、腹痛、時に溶血性尿毒症症候群(HUS)を続発することあり、発熱は少ない

3. プールで特に問題となる病原微生物

病名	病原体	潜伏期間	主な症状	多発年齢層
咽頭角膜熱 (プール病)	アデノウイルス3型、7型	3~4日	咽頭炎、結膜炎 高熱(38~40°C)	小学校児童
流行性角結膜炎 (ハヤリ目)	アデノウイルス8型	5~7日	結膜炎、耳前腺腫脹、眼周辺の浮腫 角膜混濁	全年齢層
急性出血性結膜炎 (アポロ熱)	エンテロウイルス70型	約1日	眼瞼膨張、結膜充血 耳前リンパ節炎 球結膜出血	全年齢層
伝染性軟膜腫 (水イボ)	ボックスウイルス	2~6週間	ピンクか白色の丘疹 同じ部位に数個派生	小学生児童 園児

4. 衛生害虫について

感染症を媒介するものにダニ類と昆虫類があり、衛生害虫と呼ばれている。

プール環境で問題となる主なものに、アタマジラミ、ケジラミと、人を刺すツメダニのミナミダニとクワガタツメダニがある。

①アタマジラミ：髪の毛に白いつぶつぶがあり、かゆみがあるようならアタマジラミがいる可能性がある。白いつぶつぶは卵で、頭髪の根元に赤くなった虫がいればそれはアタマジラミである。現在のところアタマジラミによる伝染病の発生は報告されていないが、シラミが寄生した頭髪から人にうつすがあるので注意が必要である。

★ アタマジラミの駆除法

いじめの原因となることがあります。駆除しておくこと。

・卵のついた毛髪は1本ずつ切除する。

・目の細かい櫛でたんねんに髪をすく。

・ていねいに毎日洗髪する。

・寝具類使用後は、掃除機をかける。

人体散布用の殺虫剤も市販されているが、卵は薬剤に強いので間隔をおいて散布すること

②ケジラミ：陰毛に寄生することから性行為感染症ともいわれ、多くの場合人が感染する。

③ミナミツメダニ；クワガタツメダニ；イエダニなどを餌にするダニで、人を刺す。湿度の高いタタミやジュウタンに多く発生する。

★ 防除法

・毎日、掃除機でこまめに掃除する。・室内の温度を下げる。除湿用クーラーも有効

・タタミ、フトン、シーツなどはよく陽に干す。

社団法人日本プール JPAA アメニティ施設協会

<機関紙タイトル集>

-プールアメニティ24号最新刊-

“水泳プールの水管理について”

協会理事 日本大学薬学部薬学研究所顧問 笹野 英雄 氏

-「プールアメニティ」バックナンバーのご案内-

第1号 (創刊号)	…	「社団法人プールアメニティ施設協会創立」
第2号	…	「遊泳用プールについて」
第3号	…	「快適なプールを目指して」
第4号	…	「より快適なプールの実現を」
第5号	…	「プールの衛生管理等の充実を」
第6号	…	「プール衛生の考え方」
第7号	…	「プール循環浄化装置について」「オゾン処理」
第8号	…	「プール水処理」紫外線照射・膜処理
第9号	…	「平成5年遊泳用プール調査結果」
第10号	…	「プール衛生管理者養成講習会受講者1,300名突破!!」
☆☆☆		
第11号	…	「プール関連機器規格について」
第12号	…	「プール関連機器規格認定基準の普及へ向けて」
第13号	…	「快適なプール施設は計画的で、適正なメンテナンスから」
第14号	…	「年頭所感」
第15号	…	「第9回総会開催 プール関連機器規格認定制度発足」
第16号	…	「第10回総会開催」
第17号	…	「レジオラネラ属菌による感染症 日和見感染菌について」
第18号	…	「病原性大腸菌による感染症」
第19号	…	「第12回総会開催」
第20号	…	「クリプトスパリジウム等の病原性原虫について」
☆☆☆		
第21号	…	「室内環境とエネルギー消費」
第22号	…	「アメニティープール施設設計ガイドライン(案)-1」
第23号	…	「アメニティーブール施設設計ガイドライン(案)-2」
第24号	…	「水泳プールの水質管理について」

バックナンバー及び、ご意見お問い合わせ等ありましたらJPAA相談窓口
または、下記までお問い合わせ下さい

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-2 YMビル202
電話：03-3209-0447, FAX：03-3209-6076

社団法人 日本プールアメニティ施設協会

Copyright (c) 1988 JAPAN POOL AMENITY ASSOCIATION

社団法人日本プール JPAA アメニティ施設協会

<Topics ! >

-機器認定制度発足-

<認定制度実施要領>

平成4年4月の厚生省生活衛生局長通知(「遊泳用プールの衛生基準について」)から、プール水の水処理が、これまでの循環浄化装置プラス塩素消毒から、オゾン浄化装置、紫外線照射装置、膜処理装置等を組み込んだ多種多様な高度水処理システムの採用が可能となった。従来これらの機器類は、各製造者が独自で性能表示や操作基準等を規定してきたが、使用する側のプール運営者が、機器の選定・採用から、メンテナンスに至るまで、公正な基準により比較検討できるように、水処理装置機器の規格基準を設定、表示方法も統一化し、さらに一定水準以上の機器を認定し、性能面・保守・維持管理面を含め経済的な機器の選択を容易にした制度を発足させるものである。



JPAA認定ラベル

正会員名簿

平成10年12月1日現在

(五十音順)

会社名	本社所在地
株式会社朝日工業社	〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目25番7号
株式会社東工業	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目24番14号
株式会社荏原製作所	〒144-0042 東京都大田区羽田旭町11番1号
荏原エンジニアリングサービス株式会社	〒108-0075 東京都港区港南2丁目13番34号 NSS IIビル
株式会社協和産業	〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4丁目2番1号
栗田工業株式会社	〒160-8383 東京都新宿区西新宿3丁目4番7号
財団法人厚生年金事業振興団	〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目5番10号
壽化工機株式会社	〒467-0012 愛知県名古屋市瑞穂区豊岡通1丁目14番地
小松化成株式会社	〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目6番3号 日米ビル
株式会社ササクラ	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島4丁目7番32号
サンエイ工業株式会社	〒457-0862 愛知県名古屋市南区内田橋2丁目19番20号
株式会社三協	〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字野田112番地
株式会社三進ろ過工業	〒453-0013 愛知県名古屋市中村区龜島2丁目22番2号
株式会社ショウエイ	〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内1丁目19番23号
水道機工株式会社	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5丁目48番16号
住友精密工業株式会社	〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号
千代田工販株式会社	〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目2番1号 銀座東芝ビル7F
株式会社テラルキョクトウ	〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230番地
東急設備株式会社	〒150-0044 東京都渋谷区円山町23番2号 アレトウーサ渋谷東西化学産業株式会社
トースイ株式会社	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号フジライト新川ビル7階
東レ株式会社	〒102-0093 東京都千代田区平河町1丁目7番7号
日機装エイコー株式会社	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
日本フイルコン株式会社	〒170-0013 東京都豊島区東池袋4丁目24番3号 協栄生命池袋ビル7F
フジカ濾水機株式会社	〒206-8577 東京都稻城市大丸2220番地
富士電機株式会社	〒170-0013 東京都豊島区東池袋5丁目39番15号
ペルメレック電極株式会社	〒100-8410 東京都千代田区有楽町1丁目12番1号 新有楽町ビル
ミウラ化学装置株式会社	〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2023番地15号
三菱電機株式会社	〒558-0013 大阪府大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号 太陽生命ビル
三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社	〒100-8310 東京都千代田区丸ノ内2丁目2番3号 三菱電機ビル
ヤマハ発動機株式会社	〒135-0042 東京都江東区木場2丁目8番3号 CN-2ビル
理水化学株式会社	〒431-0300 静岡県浜名郡新居町向島3380-67
ローレル株式会社	〒530-0054 大阪府大阪市北区南森町1丁目4番10号 理水ビル
ロンシール機器株式会社	〒640-8343 和歌山県和歌山市吉田332番地
東京都千代田区神田佐久間町4丁目6番地	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目6番地

役員名簿

平成10年12月1日現在

会長	野崎 貞彦	(五十音順)
	日本大学医学部 教授	
副会長	寺園 成宏	
	三菱電機株式会社 取締役	
副会長	濱田 昭	
	昭和大学薬学部 名誉教授	
理事	井上 宇市	
	早稲田大学理工学部 名誉教授	
理事	喜多 洋三	
	全国市長会社会文教分科会委員長 (大阪府守口市長)	
理事	木下 秋雄	
	ミウラ化学装置株式会社 取締役	
理事	木原美智子	
	ケイアンドエムインターナショナル株式会社 代表取締役	
理事	笹野 英雄	
	日本大学薬学部 薬学研究所 顧問	
理事	佐藤 二朗	
	三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社 常務取締役	
理事	佐野 武仁	
	昭和女子大学大学院 教授	
理事	玉利 齋	
	財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長	
理事	中田 浩二	
	栗田工業株式会社 常務取締役	
理事	中田 晴久	
	住友精密工業株式会社 常務取締役	
理事	比嘉 茂政	
	全国町村会 理事 (沖縄県恩納村長)	
理事	松田 隆	
	日本フィルコン株式会社 取締役	
理事	村川 洋一	
	水道機工株式会社 常務取締役	
理事	森田 豊治	
	株式会社苗原製作所 顧問 任任	
監事	青木 章太	
	公認会計士	
監事	廣西 廉彦	
	ヤマハ発動機株式会社 プール事業部営業部長	

評議員

平成10年5月1日現在

矢野 瞳夫	日本フィルコン株式会社
小川 啓介	ミウラ化学装置株式会社
柏谷 光昭	栗田工業株式会社
大野 學	富士電機株式会社
池崎 秋雄	三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社
高原 博文	三菱電機株式会社
馬場 利則	株式会社苗原製作所
水谷 秀雄	水道機工株式会社
三浪 善吾	住友精密工業株式会社

〈笹野英雄氏の略歴〉

昭和34年に日本大学薬学科を卒業し、約3年間吉富製薬(株)に勤務後、東京都立衛生研究所に入所した。以後、同研究所で飲料水、工場排水、プール水、温泉水などに関する水質業務に従事した。

この間、国際協力事業団の要請により海外医療協力の短期専門家としてナイジェリアのジョス大学医学部で「水質と疾病に関する疫学研究」の指導を行っている。その後、水質研究科長、環境衛生研究科長、参事研究员を経て、平成7年5月に東京都を定年退職した。

現在は、母校である日本大学薬学部の顧問として随时教鞭をとる傍ら、各種専門学校でも教鞭をとっている。

さらに、厚生省、環境庁等の要請により、飲料水、プール水、温泉水等の委員や資格取得のための講習会の講師をも勤めている。

「学位」
1986年、日本大学医学医学部より医学博士授与。

- 「主な著書」
- 1) 新版貯水槽の衛生管理
共著:ビル管理教育センター、1997
 - 2) 水泳プール管理マニュアル
共著:ビル管理教育センター、1995
 - 3) 空気調和・衛生工学便覧(第12版)
共著:空気調和・衛生工学会、1995
 - 4) 飲料水の各種化学物質の健康影響評価
(III農薬)
翻訳共著:日本水道協会、1994

常設委員会

(五十音順)

◎企画運営委員会

委員長	柏谷 光昭	栗田工業株式会社
副委員長	高原 博文	三菱電機株式会社
委員	池崎 秋雄	三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社
委員	大野 學	富士電機株式会社
委員	小川 啓介	ミウラ化学装置株式会社
委員	馬場 利則	株式会社苗原製作所
委員	浜口 富夫	三菱電機株式会社
委員	水谷 秀雄	水道機工株式会社
委員	三浪 善吾	住友精密工業株式会社
委員	矢野 瞳夫	日本フィルコン株式会社
委員	吉田 逸男	ヤマハ発動機株式会社

◎調査研究委員会

委員長	野崎 貞彦	日本大学医学部 教授
副委員長	井上 宇市	早稲田大学理工学部 名誉教授
委員	玉利 齋	財団法人日本健康スポーツ連盟 理事長
委員	難波 吉雄	厚生省保険医療局健康増進栄養課 課長補佐
委員	濱田 昭	昭和大学薬学部 名誉教授
委員	阿部 重一	厚生省生活衛生局企画課 課長補佐

◎教務委員会

委員長	濱田 昭	昭和大学薬学部 名誉教授
副委員長	阿部 重一	厚生省生活衛生局企画課 課長補佐
委員	大村 進	株式会社久米設計 設備設計室部長
委員	木原美智子	ケイアンドエムインターナショナル株式会社 代表取締役
委員	笹野 英雄	日本大学薬学部 薬学研究所 顧問
委員	原野 悟	日本大学医学部 公衆衛生学教室

◎機器規格認定委員会

委員長	井上 宇市	早稲田大学理工学部 名誉教授
副委員長	長島 弘典	株式会社フジタ 東京支店設備部長
委員	大垣真一郎	東京大学工学部 教授
委員	阿部 重一	厚生省生活衛生局企画課 課長補佐

◎機器規格認定部会委員

部会長	笹野 英雄	日本大学薬学部 薬学研究所 顧問
委員	小野 芳朗	岡山大学環境理工学部 環境デザイン工学科 助教授 工学博士
委員	眞柄 泰基	北海道大学大学院工学研究科 文部教官 教授
委員	中嶋 嘉信	(財)厚生年金事業振興団 第3事業部長

学校教職員 水泳プール管理者講習会

1. 概要 生徒の遊泳意欲喚起と遊泳効果について
現場で質問の多い具体的な事故例と回避策提案
機器と危機の管理 HOW-TO
2. カリキュラム (1)概論 9:30~10:30
(2)危機管理 10:30~11:40
(3)機器管理 13:00~14:30
(4)遊泳意欲喚起 14:30~15:30
(5)質疑応答 15:30~16:30
3. 費用 20,000円／人 (テキスト代を含む)

日程

下記の日程で講習会を開催いたします。

申込締切りは開催日の1ヶ月前までです。(当日消印有効)

開催年月日	開催時間	講習会開催内容	開催地域
1999年5月10日(月)	9:30~16:30	第1回学校教職員水泳プール管理講習会	(東京)
1999年5月28日(金)	9:30~16:30	第2回学校教職員水泳プール管理講習会	(東京)

本スケジュールは予告なく変更される場合があります。

詳細は必ず協会にご確認ください。

一予告一

協会は平成11年5月1日に事務所を移転します。
詳細は次号に掲載します。